

お天気解説 アキラのズバツと

火災の起きやすい状態が続いています

令和8年1月23日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

20日は「大寒」。冬も本番となりまして。冬型の気圧配置が続くと東京地方では晴れて空気が乾燥します。この冬は昨年からの降水量の少ない状態が依然として続いています。昨年10～12月の江戸川臨海の降水量は145.5ミリと平年の4割程度しか降っておらず1月に入ってから9.5ミリです。このことは関東甲信地方で同様に起きており、山梨県や神奈川県、都内でも青梅市で林野火災が発生しました。この冬は湿度の低い

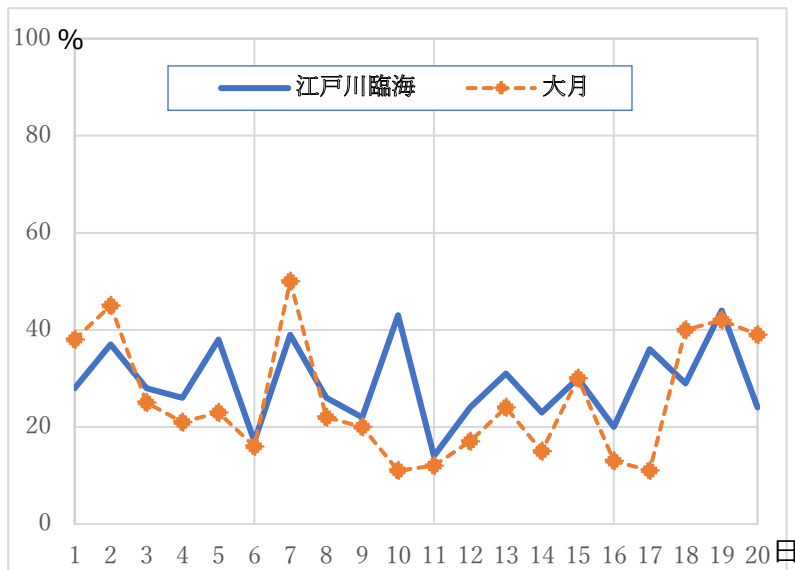


図 今月 20 日までの最小湿度の推移(江戸川臨海・大月)

状態が続き、空っ風がたびたび吹いて火災が起きやすくなっています。上図は今月20日までの江戸川臨海と、林野火災のあった山梨県大月市の日ごとの最小湿度をグラフにしたものです。江戸川臨海では20%未満になったのは2日ですが、大月では7日を数え、特に林野火災の延焼が続いた今月10日からほとんどの日が20%未満です。木材の湿り具合を示す指標として「実効湿度」がありますが、これが60%以下になると火災が起きやすいとされています。そこで、江戸川臨海の平均湿度を用いて実効湿度を計算すると、すでに、40%近くにも下がっております。

1か月予報でも降水量予想は平年よりも低い確率が60%という予報です。しばらく火災の発生しやすい状況が長く続くのかもしれないので気を付けたいです。

2026年01月23日11時 気象庁 発表

日付		今日 23日(金)	明日 24日(土)	明後日 25日(日)
東京地方		晴 	晴後時々曇 	晴時々曇
降水確率(%)		-/-/10/0	0/0/10/10	20
信頼度		-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	8	11	9 (5~10)
	最低	-	0	1 (-1~2)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

週末は晴れ時々曇りの予報です。日曜日から新たな寒気が入りそうです。空気が乾燥しているので火の取り扱いには注意が必要です。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。